

我が国の国際物流政策の取組みと、中国の一带一路を支えコンテナ輸送の第三の選択肢として注目されるユーラシア大陸鉄道利用の最新動向

日本企業は、中国、韓国を始めとするアジアの製造拠点を含めた複雑なサプライチェーン中でモノづくりを行っています。世界的な景気回復が続く中、ロシア、欧州向けの貨物量も増大傾向にあり、対欧州については今後の日-EU EPA締結により、今後ますます貨物量が増大していくことが予想されます。

一方で、アジアハブ港の混雑、欧州向け海運のスペース逼迫の状況が続く中、アジア及びアジア以西における物流インフラの整備は急務で、中国政府が一带一路構想のもと物流インフラの整備を進める中、日本政府はアジア諸国との物流政策対話の実施や、シベリア鉄道の利用促進に向けた日露政府間協議等を積極的に進めています。

日本機械輸出組合は、このほど、アジア等における我が国物流システムの海外展開や、アジアとロシア・欧州を結ぶユーラシア大陸鉄道の利用促進に取り組む国土交通省総合政策局国際物流課および日通総合研究所から講師をお招きし、2018アジア物流セミナーを開催することといたしました。

参加ご希望の方は、以下セミナー概要をご覧の上、当組合ホームページからお早目にお申し込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■ 日時 平成30年3月8日(木) 13:30~15:00

■ 場所 機械振興会館 6F 6-66会議室
東京都港区芝公園3-5-8 ※会場地図参照

■ プログラム

第1部

我が国物流システムの海外展開及びシベリア鉄道による
コンテナ輸送の利用促進に係る日本政府の取組み

- ・ サプライチェーンのグローバル化とアジア等における物流システムの海外展開支援
- ・ シベリア鉄道利用の課題と利用促進に向けた課題改善の取組み

講師：国土交通省 総合政策局 国際物流課長 町田 倫代様

第2部

中国の一带一路を支え、アジアと欧州を結ぶユーラシア横断鉄道と
アジア企業の活用実態の最新情報

- ・ 第三の選択肢として注目される鉄道ネットワーク
- ・ 中国、韓国企業の利用が急増する鉄道輸送の航空輸送、海上輸送との比較
- ・ 中国の一带一路構想のもとで増便が加速する鉄道事業と物流事業者の新たな取組み

講師：(株)日通総合研究所 Research & Contents Unit Principal Consultant
山口 修様

質疑応答

* 内容は一部変わることがあります。



■ 定員 80名

■ 受講料 組合員企業 無料
一般 2,000 円

■ お申込み方法

参加ご希望の方は、当組合ホームページからお申込下さい。

申込締切日 平成30年3月2日(金)

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm>

※先着順により受付をさせて頂き、定員となり次第受付を終了させて頂きます。

■ セミナーお問合せ先:

日本機械輸出組合 部会・貿易業務グループ (多田、吉田)

TEL 03-3431-9800・Eメールbukai@jmcti.or.jp

会場へのアクセス

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館



【地下鉄】

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車 1番出口 徒歩約7分

都営大江戸線「赤羽橋」駅下車 赤羽橋口 徒歩約8分

都営三田線「御成門」駅下車 A1出口 徒歩約10分

都営浅草線「大門」駅下車 A6出口 徒歩約15分

【J R】「浜松町」駅下車 北口 徒歩約18分

【バ ス】「浜松町～東京タワー路線」

「渋谷～東京タワー路線」東京タワー前下車すぐ